

故郷と友情

Hometown and Friendship

Edited by Dr. H. Wakamatsu

若松秀俊

Copyright © H. Wakamatsu & M. St. Goar All Rights Reserved.



Dr. Karsch 1893-1971



海外(ドイツ・イタリア・スエズ・セイロン)

大使館時代 再訪日

写真集

Overseas, Embassy, Revisit to Japan Photo Album

振り返って見れば、カルシュは日本とは数奇な運命に結ばれていた。この地で彼は教育者として、数多くの優れた教え子に恵まれた。出雲を去った後も彼の日本との縁は途絶えることなく、戦後20年後に、旧制松江高校の教え子たちに訪日の招待を受け、再び懐かしい日本の土を踏んだ。季節感に溢れる自然美と神々の姿を愛したカルシュは、終生、肌で感じた日本の風土と人間性を忘れることはなかった。それは、松江や軽井沢だけでなく、後の住処の横浜、世田谷でも同様で、マールブルクやカッセルでもその想いは、苦難にあった戦後でも終生変わることはなかった。そして、世を去っても遺族と教え子との間ではずっと交流が続いた。長きにわたって、歴史の狭間に埋もれていた彼の姿が、偶然にも著者の手で見出され、そしてこうして記録に留められることになった。

Voyage to Germany from March to October 1931

Temporal stay in Germany

ドイツ・一時帰国

昭和6年3月-昭和6年10月

May 1931, Lindau in Bodensee,
snapped by Prof. Arizawa



0803-1 昭和6年5月 ボーデン湖リンダウ、写真は有澤郷一教授による

Emmela in the living room



1100-02 1101-05 居間で佇むエッメラ

**1931, View from old Castle Moos
on Pfänder (Mountain in Austria)**



0804-1 昭和6年 ファンダー山上の
ムース古城からの眺望、オーストリア

**Zürichberg, the east of the city of
Zürich in Switzerland, 1931**



0804-2 昭和6年 チュー
リッヒの東 約700mの丘

**View from Castle Moos on Pfänder
(Mountain in Austria), 1931**



0804-3 昭和6年 ファンダー山上の
ムース古城からの眺望、オーストリア

**Emmela, Edith (younger female cousin)
and Gottfried (Emmela's father), 1931**



0805-2 エッメラ、エデット、
ゴットフリート 1931

**Theodor (Emmela's brother) and
Edith (Daughter of Prof.T.Axenfeld)**



0806-1 テオドールとエディット

Castle Neuschwanstein, 1931



0806-2 ノイシュヴァンシュタイン城

Castle Neuschwanstein, 1931



0807-1 ノイシュヴァンシュタイン城

**1931, View from Castle
Neuschwanstein westward**



0807-2 ノイシュヴァンシュタイン城
からの西方眺望

**View from Castle
Neuschwanstein westward**



0807-3 ノイシュヴァンシュタイン城
からの西方眺望

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。